

水源の確保

令和4年5月
Vol. 14

水道水源への更なる取組み

【課題】

浅井戸などは、地表からの影響により、水質が安定しない可能性があります。

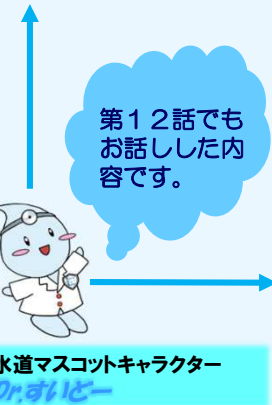
【取組みの方向】

水源の統廃合や井戸の改良工事(浅井戸等から水質が安定している深井戸への切り替え)を実施しています。



柳川取水場
改良後(深井戸)

地表からの影響を受けにくく、水量・水質ともに安定した地下水を得ることが可能です。



第12話でも
お話しした
内容です。

水道マスコットキャラクター
Dr.おしどー

県水の負担軽減

【課題】

秦野市では、水道水を作るための費用のうち、約2割を県水の受水に係る費用が占めています。県水の受水は必要不可欠ではありますが、秦野市の経営にとっては大きな負担となっています。

【取組みの方向】

神奈川県企業庁を通じ、神奈川県内広域水道企業団へより一層の企業努力を求め、県水の受水に係る費用の軽減に努めていきます。また、人口減少などに伴う水需要の減少が見込まれる中で、水需要の見通しをよく検討し、今後の水運用を図っていきます。

上
下
水道物語



水質管理の強化

水質管理の強化

【課題】

秦野市には、小規模の取水場が多数あり、水質管理体制の維持に多額のコストが発生しています。そのため、水源から蛇口までの水質管理の一元化が課題となっています。

【取組みの方向】

水道管の管末における水質検査方法や水質管理の確実性を確保するための取組みを進め、引き続き、浄水処理の管理を確実に実施するとともに、原水・浄水処理水の水質検査を継続していきます。



水質検査用サンプル水の
採水の様子

あらゆる角度から
水質検査を実施し、
安全性を確認して
「安全・安心で
おいしい水道水」を
お届けしています。



水質検査の信頼性向上

【課題】

秦野市では、水質検査業務を民間委託しているため、水質検査体制の信頼性を確保することが重要です。

【取組みの方向】

民間委託による水質検査業務に対して、随時確認や評価を行い、継続した信頼性の確保に努め、水質検査の実施結果は、速やかに広報はだのやホームページを通じて公表します。

集中監視体制の強化

【課題】

水道施設は、専門性の高い知識を必要とする設備が多いため、専門的知識を持つ職員の確保が困難な状況や費用対効果を考慮して、より効果的な監視体制について検討する必要があります。

【取組みの方向】

集中監視システムの運用状況や維持管理に係るコストの検証を行い、民間の施設維持管理業者への委託など、より効率的な監視体制の構築を検討します。



水質などに関する施設状況の
監視の様子

維持管理の強化

管路の予防保全型管理の推進

【課題】

管路の事故を未然に防ぐため、修理が必要になった際に対処する事後保全型から予防保全型による維持管理への切替えが必要です。

【取組みの方向】

秦野市管工事業協同組合などの民間事業者と連携し、効果的かつ効率的な手法や包括委託などを含めた体制の整備について検討するとともに、配水管や導・送水管のほか、水管橋についても、引き続き計画的に調査を行い、大規模な漏水防止に努めます。



水管橋の点検の様子

定期的な点検作業を行い、安定した水道水の供給に努めています。

施設の予防保全型管理の推進

【課題】

管路と同様に事後保全型から予防保全型による維持管理への切替えが必要です。

【取組みの方向】

定期的な点検や適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図るとともに、集中監視システムの運用状況を検証し、必要に応じて機能を増設しながら、より効率的な維持管理に努めます。

効率的な施設整備

計画的な管路の更新と整備

【課題】

更新需要が集中する時期には、現在の職員数で多くの更新工事を実施することが想定されるため、事業量を平準化し、計画的に更新を進めていく必要があります。

【取組みの方向】

限られた人員の中で工事量が増加するため、設計から施工までを民間事業者に一括発注するなどの新たな整備手法について、市内企業の育成等を考慮し、導入を推進します。



水道管(直径20cm)の更新・耐震化工事の様子

更新需要に備えた課題の一つとして、専門技術を有する技術系職員の人材確保や技術の継承が、全国的な課題となっています。



計画的な施設の更新と整備

【課題】

秦野市は給水区域が広範囲にわたっているため、給水量の減少とともに施設の能力に対する一日の平均配水量の割合である施設利用率も低下しています。

【取組みの方向】

施設のライフサイクルを考慮したうえで、計画的に必要な規模での更新や統廃合の検討を進めていきます。

耐震化の推進

管路の耐震化

【課題】

他の事業体と比較して、耐震化率が低い状況にあり、施工環境の制約や現在の限られた人員では、スピードアップを図ることが難しい状況にあります。

【取組みの方向】

新たな整備手法の導入について、市内企業の育成等を考慮し、導入を推進し、耐震化を進めていきます。



水道管(直径60cm)の更新・耐震化工事の様子

広域避難場所や病院などの重要拠点の管路整備を優先的に進め、大規模災害に備えて、計画的な耐震化に取り組んでいます。



施設の耐震化

【課題】

施設の稼働を継続しながら、実施時期や優先順位を十分に検討し、耐震化工事を円滑に進めていく必要があります。

【取組みの方向】

施設の重要度、緊急性や地震リスクなどを総合的に検討し、計画的に耐震診断や耐震補強工事を進めていきます。